

【開催報告】

企業協賛ワークショップ【西尾レントオール株式会社】

を開催しました！

2020年度立命館大学 EDGE+R プログラム
企業協賛ワークショップ
ー 西尾レントオール株式会社

レンタル業の
新たな役割を考える

2020 12.12 日 10:00-17:00

実証実験「MIDORIオフィス」・西尾レントオール(株)本社移転計画

2020年10月5日～10月16日の間、本社機能を大阪うめきた2期開発区域の隣接地に移設し、都市再開発における緑地エリアのIoT化を進め、「BOP対策」と「賑わい創出」の両立をはかるための実証実験を行いました。

京都リサーチパーク(KRP)
9号館5階 Canopy
JR 嵯峨野線 丹波口駅すぐ

お申込みは
11.30(月)
23:59 まで

毎年開催している西尾レントオール株式会社との企業協賛ワークショップですが、今年度はコロナウィルス感染症の影響もあり、人数や時間を縮小し京都リサーチパークにて対面で開催いたしました。

社会では仕事や生活で様々な物品がレンタルで使われています。レンタル品は、特定の物品を所有するのではなく、時間や場所、経済性の制約を軽減して多様な活動を行うことができるだけでなく、限られた資源を共用という形で有効に活用することができることができます。西尾レントオール(株)は、建設やイベント分野を中心に様々な物品をレンタルという形で社会に提供しており、最近では本社機能を大阪市北区の「みどりのリビングラボうめきた外庭 SQUARE」(屋外)に一時的に移転し、レンタルを活用した新しい屋外オフィスのあり方を提案したことで注目を集めている企業です。

WSでは、学生と西尾レントオール(株)社員で構成されるチームメンバーで「ポストコロナ時代におけるレンタル業の新しい役割」と「与えられたレンタル物品に新たな命を吹き込む」の2題テーマについて、今回提供してくださった4つの機材の新たなビジネスモデル

を考え発表することを通じて、自分が社会に変化を与えるマインドを育成してもらうことを目的に実施しました。

参加者からは、「アイデアを出すには、環境や視点を変える事が重要だと知った」「今回のワークショップは興味深く新たな経験をできたことを心より嬉しく思います。アイデアを出し合ってチームメンバーがそれぞれ異なる特性を出し合いながら一つのプロジェクトを進めることが好きなので、とてもいい機会になりました」「レンタル業のこれからを考えさせられる良い機会になりました。また、私はマーケティングに非常に興味があるので、今回のディスカッションでレンタル業のニーズについて深く知ることが出来、とても有意義な時間になりました。このような貴重な体験を設けてくださり、本当に感謝しています。」といった感想が聞かれました。

また、西尾レントオール(株)社員様からは「少人数、時間的制約となかなか難しい環境下で、きちんとゴールまで持っていった学生さん達の能力には、今年も驚かされました」「学生と社会人がディスカッションすることで、新しい発想につながったかと思えます。」「身近である「レンタル」についてここまで掘り下げて考えることもあまりなかったかと思えます。就活・起業においても”掘り下げる”ことの切り口なんかを考えるきっかけになったと思います。」といったご感想を頂きました。



⇐ワーク風景



全体写真⇒



↔ご提供いただいた機材でテーマを考えました